

mori もりもと moto

# おかしはなし

Vol. 14 こぶとりじいさん



「じいさんや こんやも おどりにこいよ。それまで このこぶを あずかろう。」  
と いう て みぎの ほっぺたの こぶを もつ て いっ て し ま い ま し た 。

Produced by SARA  
Picture Book Island



こだわりのもり、おいしいのもと  
PATISSIER  
**mori**  
**moto**

「おじいさん」は  
和菓子職人が  
あんでつくりました!

むかしむかしあるところに、  
みぎのほつぺたに こぶのある  
のんきなおじいさんがいました。  
じゃまなこぶなのにちつともきにしません。  
そしておなじむらにもうひとり、  
ひだりのほつぺたにこぶのあるおじいさんがいました。

あるひ、のんきなおじいさんがもりで  
きをきっている、ざーざーとつぜんのあめ。  
「どうしたもんかね。これではかぜをひいてしまうよ。」  
しかたなくおおきなきのしたで あまやどり。

♪ぴーひゃらぴーひゃらどんどん♪  
どうやらしらないうちにねてしまった  
おじいさんは、たのしそうな  
おはやしのおとでめがさめました。

「ん？このおとはなんだろう？」

おとにさそわれてもりのおくにすすむと、  
なんとおにがわになっておどっているでは  
ありませんか。

おそろおそろちかづいてみると、  
すこしずつこわいきもちもなくなって  
いつのまにかいっしょに  
おどりだしてしまいました。

するとおにたちは「これはこれは  
いいおどりじゃー」と、おおもりあがり。

♪ぴーひゃらぴーひゃらどんどん♪  
じかんもわすれておどっていると、  
すっかりよあけになりました。

「じいさんやこんやもおどりにこいよ。  
それまでこのこぶをあずかろう。」といて  
みぎのほつぺたのこぶをもっていつて  
しまいました。

「こぶがなくなつたー！こりゃやさしい  
おにさんだ。」おじいさんはきれいに  
こぶがなくなり、よろこんでかえりました。

そのはなしをきいたひだりほつぺたに  
こぶのあるおじいさんは、うらやんでそのばん  
おにのもとにむかいました。おにたちを  
よろこばせるおどりができずに、  
もうひとつこぶをつけられてかえってきたとき。

おしまい



## sora's profile

北海道を拠点として活動する、絵本作家、イラストレーター。イラストによる絵本、そらが制作したフェルトぬいぐるみを撮影したピクチャーブック、キャラクター開発などを手掛ける。また、自身の絵本による、子どもたちへの読み聞かせやライブペインティング、絵本作家としての講演や、テレビ・ラジオ・雑誌などへの出演などの活動も展開。



## こぶとりじいさんの感想

この昔話は、「好奇心が功を奏したお話」で、怖いなあ、不安だなと思う事でも好奇心が勝ってしまう時に、人は一歩踏み出したことで楽しさに出会えることもあります。楽しさが連鎖し、誰かを笑顔にできた時、予想もしなかった素敵な結末が待っているかもしれません。是非みなさんも、この春「楽しい！」をたくさん見つけてみてください。



SORA

Produced by SORA  
Picture Book Island



こだわりのもり、おいしいきもち

PÂTISSIER  
mori  
moto

こどもの成長編

morimoto

# ぎょうじずかん

じんせい ふしめ かし  
人生の節目には、かかせないお菓子があります。

むかし たいせつ ぶんか  
そんなとおい昔から大切にされてきた文化をまなびましょう！

## 七五三 <しちごさん>

せいちょう いわ にほん いわ ぎょうじ こ  
こどもの成長を祝う日本のお祝い行事。7さいのおんなの子、5さいのおとこの子、  
3さいのおんなの子が、11月15日ごろに神社やお寺にお参りをします。

ほっかいどう がつ がつ にち ばあい  
※北海道の11月はさむいので、10月15日にする場合がおい。



いわ  
お祝いの  
おかし

←かすてら

バウム  
クーヘン→

かぞえ年で13さいになる  
こどもをお祝いの行事。  
自分がさずかりたい漢字  
ひともじ  
一文字をかいておのりする  
こともあります。男女ともに  
やくどし  
厄年でもあることから  
やくぼつ  
厄払いのいみも。

## 十三参り

へじゅうさんまいり

## 成人式 <せいじんしき>

にほん せいじん いわ ぎしき げんざい がつ  
日本にはふるくから成人を祝う儀式があり、現在は1月の  
だい げつよう せいじん ひ じかく  
第2月曜を成人の日として、「おとなになったことを自覚し、

いぬ せいじん いわ ひ  
みずから生き抜こうという成人を祝いはげます日」ときめられました。